

## 学内連携セミナー：第2回

# 知識創造の裾野を広げるユニバーサル・メディアの実現を目指して



西本 一志

知識科学教育研究センター

2008 6/26

12:40 - 13:20

知識科学研究科講義棟1F  
エントランスホール

人は誰も創造的能力を裡に秘めています。しかし、その能力を存分に発揮できる人はごく限られています。何がその障壁になっているのでしょうか？その障壁を軽減し、さらには取り除き、誰もが知識創造にもっと積極的に取り組み、貢献することを可能とすることはできないのでしょうか？

私は、創造的産物を表現し伝達するためのメディアに着目しています。表現のためのメディアは、紙と鉛筆や楽器、計算機など多数存在します。これら既存のメディアは、幅広い表現に利用可能であり、しかもプロのクリエイターの厳しい要求にも応えられる、強力な表現力を有します。ところが、これらの既存のメディアを用いて、思いどおりの表現を行うことは、実は容易ではありません。紙と鉛筆で自在にスケッチを描けるようになるまでに、あるいは楽器を用いてありのままに感動を表現できるようになるまでに、長期間にわたる膨大な訓練を必要とします。この結果、たとえ頭の中にすばらしい創作物が存在したとしても、それを表出し伝達するメディアを使う難しさに阻まれ、多くの人々がその創造性をほとんど発揮できずにいます。

このような現状の問題を打開し、創造的思考活動の成果を、プロフェッショナルからアマチュアまで、誰もが容易かつ的確に表現し、伝達することを可能とする創造活動のためのユニバーサル・メディアの実現に向けて研究開発を進めています。本講演では、創造活動のためのユニバーサルメディアの実現のための考え方と、これまでの研究開発事例を紹介します。



エントランスホールは  
知識講義棟1F、中講義室の真下  
学生課前の階段を下りた先です

世話人: 鷓木、小矢野、橋本、戸田、寺倉